

2024_1021「暮れなずむ貯水池（写真）」日々の理科 3728号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

「暮れなずむ」という表現があります。「日が暮れそうでなかなか暮れない状態」「太陽が沈みそうでなかなか沈まない状態」・・・といった時間帯または空の状態を表現した語です。私はかつて中欧の旅行案内書の中に「ハンガリーの暮れなずむ大平原」という題の写真を見つけ、その実際の情景をどうしても見たいと思いました。ハンガリーではわざわざ大平原地方の地元の方に案内してもらい、果たしてすばらしい落日を見ることができました。一番最初に覚えたハンガリー語も「ナップレメンテ（夕日）」という語でした。

先日、「紫金山・アトラス彗星」を撮影に行った狭山湖でも、彗星の前に夕日を見ることができました。狭山湖の築堤は東側にあるので、西に貯水池の湖面が広がり、西側の眺望が良いのです。まさしく「暮れなずむ貯水池」でした。この日は彗星も撮影できたのですが、もし彗星を撮れなくても、この夕景を見られただけで満足できたと思いました。遠くに見える山影は、奥多摩の名峰「大岳山（おおたけさん）」1267mです。

(2024年10月中旬／埼玉県所沢市狭山湖)

